


ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

| | | | | | |
|---|--|--------|---|------|---|
| 研究機関名 | 山梨県立大学 | | | | |
| プログラム名 | がん薬物療法の副作用や苦痛を和らげる看護ケアについて知ろう！ | | | | |
| 先生(代表者) | 高岸弘美(たかぎし ひろみ)・看護学部 講師 | | | |  |
| 自己紹介 | 私は成人看護学という分野の講義や実習を主に担当しています。これまでにがんで薬物療法による治療を受けている患者様における口内炎の予防と軽減に関する研究に取り組んできました。参加する皆さんが少しでもがん治療やがん看護について興味と関心を持っていただけることを期待します。 | | | | |
| 開催日・募集対象 | 2023年7月29日(土) | 受講対象者 | 高校生 | 募集人数 | 30名 |
| 集合場所・時間 | 山梨県立大学池田キャンパス 第7講義室 | (集合時間) | 12:30～12:55 | | |
| 開催会場 | 山梨県立大学 池田キャンパス (看護学部) 住所: 〒400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1 大学HP アクセスマップ https://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/map/ | | | | |
| 内 容 | | | | | |
| <p>血液がんの治療は、抗がん薬による薬物療法や造血幹細胞移植などが主で、抗がん薬では重度の口腔粘膜炎が発生することが多く、予防的なケアが患者のクオリティ・オブ・ライフ(QOL:生活の質)のために重要である。この口腔粘膜炎を予防するために抗がん剤の投与中に口腔内を氷で冷やすクライオセラピー(冷却療法)がある。これまでの研究結果として、血液がんの患者においてクライオセラピーを実施した場合としなかった場合で効果を比較すると、実施した場合のほうが口腔粘膜炎の出現も少なく、重症化せず治療も継続できたという結果を得ている。本プログラムへの参加を通して、受講生に血液がんやがん治療・看護の知識を深めるとともに、患者の体験する心身の苦痛への理解を深め、苦痛を緩和するための看護ケアの意義や意思決定支援における看護師の役割について体験を通して、考えることを目的とする。</p> | | | | | |
| 持ち物 | | | 特記事項 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・ノートまたはメモ帳 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設内を移動するため、参加者全員に傷害保険に加入していただきます(費用は大学で負担します)。 | | |

スケジュール

実施場所は、山梨県立大学看護学部内で行う。前半は、血液がんの治療に携わる医師やがん薬物療法認定看護師からの講義を聞き、企画と関連している研究成果について紹介し、臨床現場でどのように役立っているか説明する。後半は、苦痛を緩和するためのアロマセラピーの実施体験と意思決定支援についてのカードを用いた演習を行う。

【タイムスケジュール】

12:30～13:00 受付(集合場所;池田キャンパス 101 講義室前)

13:00～13:10 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)

13:15～13:45 講義①「がん薬物療法による口内炎と軽減・予防のためのクライオセラピーの効果(講師;高岸弘美)」(終了後 15分休憩)

14:00～14:40 講義②:「がん薬物療法について治療や看護への理解を深めよう(講師;血液内科の医師とがん薬物療法認定看護師)」

14:40～15:00 もぐもぐタイム(休憩・研究者、看護学生との交流)

15:00～15:40

演習①:「苦痛を和らげるためのアロママッサージを体験しよう(講師;前澤美代子教授)」(20分)

演習②:「もしもの時に備えてカードで考えてみよう(講師;高岸弘美)」(10分)

15:40～16:10 ディスカッション(グループで行い・全体で意見を共有する)

*グループには、看護学生がスタッフとして参加し、意見交換も行う。

16:10～16:20 休憩

16:20～17:00 修了式(未来博士号の授与)、記念撮影

17:00 終了、解散

なお、感染症対策のため、本プログラム内容は改変する可能性があることもご了承ください。